

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

## 事業実施報告書【ベトナム】

- ◆2018年10月23日（火）～26日（金）
- ◆ベトナム・ハノイ市 ハノイ電気機械短大（HGEM）
- ◆シーケンス制御2級 技能評価トライアル（SET）

2018年10月

## 1. 事業の全体概要

- (実施期間) 2018年10月23日(火)～26日(金)  
 (実施場所) ベトナム社会主義共和国・ハノイ市  
 ハノイ電気機械短大(HGEM)  
 (職種) シーケンス制御2級 技能評価トライアル(SET)  
 (講師) 内山 聡氏 (株式会社デンソー技研センター)  
 (参加者数) 受検者10名、評価者6名

### (実施日程)

日時	活動名(指導内容)
10月23日(火) 08:30～16:30	<b>【技能評価トライアル準備】</b> 開講式 ー技能評価トライアル準備ー ① 工具、測定器等の準備 ② 試験材料のチェック ③ 役割分担を決める、役割と作業の確認 ④ 実技試験のタイムテーブル作成 ⑤ 実技試験問題のラダー作成
10月24日(水) 08:30～16:30	① 実技試験のプログラム作成 ② 検定試験のチェック方法確認 ③ 補講
10月25日(木) 08:30～16:30	<b>【学科受付】</b> 08:00 ペーパーテスト(60分) (10人) 09:30 学科試験 (100分) (10人) 実技試験の機材確認準備 (評価者:翌日のトライアル準備) <b>【技能評価トライアル】</b> 実技試験(1回目:5人) 開始時間 13:00 採点作業 開始時間 15:30
10月26日(金) 08:30～16:30	<b>【技能評価トライアル】</b> 実技試験(2回目:5人) 開始時間 08:00 採点作業 開始時間 10:30 とりまとめ及び総括 閉講式

## 2. 講評

### ◆ 総評

- ・技能評価者6名(2名追加、1名不参加)の育成を実施。全員が前向きな取り組みを見せ、規律のある講習ができた。追加の2名も能力が高く、キャッチアップできたと思う。
- ・会場の準備面は、機材の保守、安全面の配慮等、格段の進歩があった。
- ・「シーケンス制御作業」は、非公開の職種であり、他の職種にもまして、検定に関わる秘密の保持が検定の公正公平を左右させる。評価者として運用面の注意事項の遵守にとどまらず、心構えについても強く説き、その重要性の理解を深めた。
- ・トライアルは10名受検して1名の合格であった。合格者は、前年も参加した企業の方であり、試験に際して十分に学習、訓練したものと察することができた。事前の学習、訓練は必須であり、試験の認知度向上は喫緊の課題である。そのためにも、試験の告知の工夫や、大学や日系企業を通じての広報が必要と感じた。

## 3. 受講者へのアンケート結果

### ◆ 受検者10名(回答者10名)

満足度	: 大変満足=4名 満足=5名 どちらともいえない=1名	満足度	90%
役立ち度	: 大変役立つ=7名 役立つ=2名 どちらともいえない=1名	役立ち度	90%
継続性	: 是非継続すべき=7名 継続すべき=3名	継続希望度	100%

#### 【意見・感想】

- ・もっと多くの方が参加できるようにしてほしい
- ・技能評価検定制度を拡大してほしい
- ・本研修によって得られた知識と技術に満足

### ◆ 評価者6名(回答者6名)

満足度	: 大変満足=3名 満足=3名	満足度	100%
役立ち度	: 大変役立つ=4名 役立つ=2名	役立ち度	100%
向上度	: 大変向上した=4名 向上した=2名	向上度	100%
継続性	: 是非継続すべき=3名 継続すべき=3名	継続希望度	100%

#### 【意見・感想】

- ・ベトナムの規準を作成するために日本の専門家の協力を得たい

以上